

ゆりかご 2024-10-1 園だより



3ヶ月(10~12月)のねらい
手を使ってつくりだす活動を
中心に園生活を豊かにしよう

子どもの成長・発達には家庭と園とのつながりが欠かせないと考えています。相互理解を図りつなげる手立てとして、日々の連絡ノートやお便り、懇談会などがあります。いずれも保育内容や子どもの様子を知らせるという園からの一方的なものではなく、両者間の受けとめて返すというボールの投げ合いを通して子どもも大人も成長していけると思っています。信頼関係を築くためにも、受け止め方がズレたり返すタイミングが合わなかったりすることのないよう心がけたいと思っています。

現在、クラス懇談会は年に5回、平日の夕方に行っています。保育のねらいを父母たちにも理解してもらえ、子どもたちが仲間の中で育っているかが伝わる。家と園が協力しあって子どもの成長を見守り支えていく、私たち大人もいろんな人の刺激を受けて成長する、そんな集団になっていけたらと思います。

以前は懇談会を年に6回行っていました。母親ばかりの懇談会になりがちなか、父親懇談会を年に1回位置づけ、子育てを語ってもらいました。1月は保育の中で子どもたちが楽しんでいるコマやカルタ、羽根つきといったお正月あそび交流を兼ねての懇談会でした。

その後父親の懇談会への参加が増えたことや、お正月あそびより話し合いを重視したいということで今のかたちでの懇談会が定着してきました。2008年に全家庭を対象にアンケートをとったところ、平日の18:00から2時間、回数は年5回が良いという意見が多かったため、それまでの懇談会の開催方法と変えずに続けてきました。

新型コロナウイルス感染拡大を機に、それまでの2時間~2時間半の開催時間を1時間半に短縮し、現在に至っています。

昨年の0歳児クラスでは、お迎え時間の早い家庭が多いこともあり、夜遅くまで残るのは大変だろうと、懇談会の時間帯を早めてみました。今年度は他のクラスでも試験的に行っています。懇談会の時間を早めると、参加できない方もいらっしゃるでしょうし、父母の働く環境が厳しくなっている状況の中、今後検討は必要です。

いずれにしても「参加して良かった」「懇談会に出て得た気分」と思っていただけのような懇談会をめざしたいと思っています。